

校訓	真善美	令和6年度 学校通信 「荒中だより」 3月 弥生 第34号	発行日	令和7年3月21日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 感謝する心、確かな学力、健やかな心身を育てる		発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

第44回卒業証書授与式を厳粛かつ盛大に挙行できましたことに心より感謝し、お礼申し上げます。

「在校生送ることば」

厳しい寒さの中にも、春の訪れを、感じられる季節。本日、晴れて、荒牧中学校を卒業される先輩方、ご卒業、おめでとうございます。先輩方は今、どのように3年間をふり返っていらっしゃるのでしょうか。この、荒牧中学校で、多くの先生、先輩、後輩、そして、仲間と出会い、喜び合い、支え合い、共に過ごしてきたことでしょう。今、私たちも、先輩方と過ごした日々が走馬灯のように蘇ってきます。今年の3年生の先輩はとても偉大でした。私たちが1年生の頃、先輩方は大阪へ校外学習に行きました。そのころは「大阪に行くんだ、いいな」くらいにしか、思っていませんでしたが、自分たちが今年、神戸で校外学習をするにあたり先輩たちの校外学習について聞き、荒牧中学校が、大阪で、校外学習をすることは珍しいということや先輩たちは、行きも、帰りも、電車を使ったことを教えてもらいました。先輩方の学年は、学年をひっぱっていくしっかりとした、リーダーがいる。これまでの学校生活で、仲間を思いやり、着実に培ってきた時間がある。信頼とやる気があれば、学年として新しいことに挑戦できることを、先輩の姿から、学びました。今年度の、学習発表会で見た、修学旅行の取り組みも、楽しさの中にも、学びがしっかりとありました。平和祈念公園、原爆資料館、大刀洗平和記念館。平和宣言の中で、「戦争の始まりは、苦しみの始まりですが、戦争の終わりが、苦しみの終わりではない。あの日、犠牲になった方々が、様々な形で、戦争の残酷さを、後世に残しました。そのバトンを、私たちが、つなげなければなりません。」その言葉が、ずっと、印象に残っています。長崎の空で、先輩方が誓った言葉、平和の灯を私たちもつなぎ、そして、後輩へとつなげていきたいと、強く、強く感じています。まだまだ蒸し暑さが残る、10月。体育大会がありました。毎年、楽しみにしている、3年生の演技。今年はどんなダンスなのか・・・授業中、3年生のダンスの曲が聞こえてくると、わくわくしていました。女子の先輩は、「39」と書かれた、色、とりどりのTシャツを着用し、とっても可愛かったです。また、ダンスでも、全員が音楽に乗り、弾けんばかりの笑顔で、踊っていて、息をするのも忘れてしまうほど見入っていました。放送部の先輩を探したり、生徒会で一緒だった先輩を探したり、見ている私たち

も自然と笑顔になり、楽しい時間でした。男子の先輩のダンスは、どんなだろう？登場したとき、女子の先輩との違いに、自分が想像していた、イメージとの違いに驚きました。ダンスの中で、お互いの顔を見たり、笑ったり、すましたり、叫んだり・・・やるときは全力でやり切る、かっこよさを感じました。暑い夏が過ぎ、秋の深まりが感じられる頃、生徒会本部役員選挙がありました。かっこいい先輩方を追いかけて、生徒会長になりました。専門委員会や学習発表会と取り組みを進めていく中で、生徒会長だからと私の中で不安や心配の気持ちがありました。そんな私に前生徒会長の先輩から「分からないことがあれば何でも聞いてね」と優しく声をかけてもらいました。そして、一冊のノートをもらいました。そのノートにはたくさんの原稿や目標が書かれてありました。私は困ったときそのノートを必ず見るようになり、今では私にとってのお守りのような存在です。3年生の先輩がいたから、もっと頑張ろうと前向きな気持ちをもつことができました。荒牧中学校の、新たな魅力となりつつある、ROSE タイム。先生には少し悪い気もしますが、先輩方に教えてもらった、あの時間が一番楽しく、勉強できました。数学だけではなく、合間に、いろいろな話をしてくださりありがとうございました。最後に、学校生活の中で、先輩と一番長く過ごした、部活動。僕の所属する卓球部では、先輩がすごく強くて、その姿を見ていると、こんな先輩になりたいというより、こんな風になれるのか・・・と不安ばかり感じていました。迎えた先輩の総体、新人戦で負けた相手と当たりました。あれだけ強い先輩でも、厳しい戦いでした。しかし、最後まで諦めなかった。強いだけでなく、“たくましい”先輩の姿を見て、僕もたくましい先輩になろうと、決めました。部活動見学の時、他の部活より、離れた場所にあったのがテニスコートでした。ネットの奥にあって、行きにくくて・・・でも先輩が優しく、案内してくれました。僕がテニス部に入った理由は、先輩たちが、優しくかったからです。雨が降った後の水抜きも、キャプテンを決めた日も、けんかをしたときも・・・全部貴重な時間でした。練習ではいろんな話をしながら進め、先生には一緒に叱られたりもしました。たくさんの時間の中に、先輩がいて、そして変わった気がします。

先輩、本当に大好きです。どんなときも、どんなことも、7真面目に、誠実に、取り組んでこられた先輩方。本当のかっこよさとは何かを先輩方には、言葉で、姿で、教えていただいたように思います。そして、今日、この瞬間の、先輩方の返事や歌声、そして姿も、目に焼き付けます。先輩の、数々の姿を胸に、私たちに託された、荒牧のバトンを握りしめ、がんばっていきます。自ら考え、行動し、未来が創造できる荒牧中、卒業生として、輝かしい未来を歩まれることをお祈りし、私たち在校生からの、送る言葉といたします。